

安全データシート

1. 製品及び会社情報

会社	アイカ工業株式会社		
住所	愛知県あま市上萱津深見 2 4 番地		
担当部門	化成品カンパニー 品質管理グループ		
電話番号	052-443-4811	FAX番号	052-443-4825
緊急連絡先	担当部門に同じ		
整理番号： DA-0459-9	改訂日	2020年	2月 1日
	作成日	2005年	6月 24日

製品名 アイカアイボン AL-763N
(化学名, 商品名)

2. 危険有害性の要約

GHS分類：	
引火性液体	区分外
急性毒性（経皮）	区分外
生殖細胞変異原性	区分外
発がん性	区分外
生殖毒性	区分外

※上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

ラベル要素：

・絵表示 なし

・注意喚起語 非該当

・危険有害性情報

・注意事項（GHS対応表記）

※製品ラベルの有害性情報は製品群毎に共通の内容としていますので、個別の製品安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別： 混合物
化学名： エチレン-酢酸ビニル共重合樹脂エマルジョン系接着剤
成分及び含有量：

成分名	含有率（%）	CAS No.	化審法
エチレン-酢酸ビニル共重合樹脂等	45～55	24937-78-8	既存
水	45～55	7732-18-5	既存
酸化チタン(IV)	1～3	13463-67-7	既存
酢酸ビニル	0.5未満	108-05-4	既存
二酸化ケイ素	0.1～0.2	7631-86-9	既存

厚生労働省指定13物質を使用していません。

4. 応急措置

目に入った場合：	・清浄な水で15分間以上洗眼し、眼科医の診断を受ける。
皮膚に付着した場合：	・付着した衣服、靴を脱ぎ、付着した部分を水または微温湯を流しながら、洗浄する。
吸入した場合：	・空気の新鮮な場所に移し、安静、保温に努め、医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合：	・水で口の中をよく洗い、直ちに医師の診断を受ける。無理に吐き出させないようにする。

5. 火災時の措置

特有の危険有害性： ・このもの自体には可燃性はないが、水分が蒸発した後の乾燥物は可燃性である。

消火方法：	<ul style="list-style-type: none"> ・火元の燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。延焼の恐れのないよう水スプレーで周辺を冷却する。消火作業は風上から行う。 ・保護衣を着用するほか、状況によっては、不浸透性手袋、有機ガス用防毒マスク等の保護具を着用する。
消火剤：	水 [○]，二酸化炭素 [○]，泡 [○]，粉末 [○]，乾燥砂 [○] その他（強化液）
使ってはならない 消化剤：	特になし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具および緊急措置：	<ul style="list-style-type: none"> ・作業の際には長靴，手袋，保護眼鏡などの保護具を着用する。
環境に対する注意事項：	<ul style="list-style-type: none"> ・流路を毛布，土嚢等を用いてせき止め、多量流出の場合はバキューム等で汲み上げる。少量流出の場合はおがくず，土砂，パーライト等を混ぜ、モルタル状にして凝固回収する。 ・多量に河川，湖沼へ流出した場合は、必要に応じ都道府県市町村の公害関連部署等に直ちに連絡を取る。
回収、中和：	<ul style="list-style-type: none"> ・少量の場合は、紙や布でふき取り焼却する。多量の場合は、火花の出ないシャベル等で密閉できる容器にすくい取り、焼却する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：	<ul style="list-style-type: none"> ・取扱いは、換気の良い場所で行う。 ・目，皮膚への接触を防止するため、状況に応じ保護眼鏡，保護手袋などの保護具を着用する。
保 管：	<ul style="list-style-type: none"> ・容器は破損、腐食、割れ等のないものを使用する。 ・凍結，直射日光を避け、屋内で保管すること。 ・保管時の温度は、5℃以下あるいは35℃以上とならないようにする。 ・皮張り防止のため、使用後は密封して貯蔵する。

8. 暴露防止及び保護措置

暴露濃度基準：	<table border="1"> <thead> <tr> <th>成分名</th> <th>管理濃度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>酢酸ビニル</td> <td>10ppm</td> </tr> </tbody> </table>	成分名	管理濃度	酢酸ビニル	10ppm
成分名	管理濃度				
酢酸ビニル	10ppm				
設備対策：	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気，ミストが発生する場合には、局所排気装置などの排気のための装置を設置する。 				
保護具：	<p>呼吸用保護具： 必要ならば、有機ガス用防毒マスクを着用する。</p> <p>保護眼鏡： 必要ならば、保護眼鏡を着用する。</p> <p>保護手袋： 必要ならば、PE，ゴム製の非浸透性の手袋を着用する。</p> <p>保護衣： 必要ならば、長袖作業衣等を着用する。</p>				

9. 物理的及び化学的性質

外 観：	白色液体
臭 い：	わずかにあり
pH：	5
融 点：	約0℃（水として）
初留点と沸点範囲：	約100℃
引火点：	該当しない
蒸発速度：	データなし
引火または爆発範囲の上限/下限：	なし
揮発性：	データなし
蒸気圧：	データなし
蒸気密度：	データなし
密 度：	約1.1 × 10 ³ kg/m ³ (23℃)
溶解性：	水と任意の割合で混合可能
オクタノール/水分配係数：	知見なし

発火点： データなし
 分解温度： データなし

10. 安定性及び反応性

安定性： 通常の取扱い条件では安定。
 危険有害反応可能性： 反応性はない。
 避けるべき条件： なし
 混触危険物質： なし
 危険有害な分解生成物： 知見なし

11. 有害性情報

刺激性（皮膚，眼）： ・皮膚に付着したままにすると、炎症をおこす場合がある。
 ・蒸気を吸引すると、頭痛をおこす場合がある。

急性毒性：

成分名	LD50(mg/kg)	生物種
酢酸ビニル	2900	ラット

12. 環境影響情報

移動性： 知見なし
 他の有害影響： 河川等に流出した場合には、エマルジョン中の樹脂の粘着による呼吸困難のため、魚類が死亡する場合がある。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物： ・「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の分類では、「廃油と廃プラスチック類の混合物」で、焼却する場合は、焼却設備を用いて少量ずつ焼却する。
 ・産業廃棄物として処理する場合は、許可を受けた処理業者に委託する。
 ・洗浄水等の廃水は凝集沈殿、活性汚泥等の処理により清浄にしてから排出する。
 ・水質汚濁防止法に留意すること。

汚染容器・包装： 内容物を完全に除いた後処分する。処理は法規の規定に従って行う。

14. 輸送上の注意

国連分類： 非該当 国連番号： 非該当
 ・運搬に際しては容器の漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

消防法： 非該当
 毒物劇物取締法： 非該当
 労働安全衛生法： [表示対象物質] 非該当
 [通知対象物質] 酢酸ビニル、酸化チタン(IV)、二酸化ケイ素
 P R T R 法： [第1種指定化学物質] 非該当
 [第2種指定化学物質] 非該当

16. その他の情報

ホルムアルデヒド基準：（日本接着剤工業会）室内空気質汚染対策のための自主管理規定
 J A I A 0 0 7 2 4 6 F☆☆☆☆

4VOC放散速度基準：
 日本接着剤工業会自主管理規定 J A I A - 5 0 1 8 6 9 4VOC基準適合

記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては情報提供であり、いかなる保証もなすものではありません。また、記載事項は通常の手配を対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

引用文献：

・ 14102の化学商品	化学工業日報社
・ 化学物質の危険，有害便覧	中央労働災害防止協会
・ 知っておきたい職場の化学物質	中央労働災害防止協会
・ 製品安全データシートの作成指針	日本化学工業協会
・ 合成樹脂エマルジョンの輸送事故対策指針	日本エマルジョン工業会編